

1 この科目の構成について

| | | | | | |
|-------|---|-------|------------|-----|-----|
| 教 科 | 外国語 | 科 目 | 英語表現Ⅱ | 単 位 | 2単位 |
| 対象コース | カレッジコース | 対象クラス | 2年3, 4, 5組 | | |
| 使用教科書 | Vision Quest English Expression I Vision Quest English Expression II | | | | |
| 使用副教材 | Vision Quest ビジョン・クエスト総合英語 Vision Quest English Expression I WORKBOOK Vision Quest English Expression II WORKBOOK | | | | |

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

| | |
|---|---|
| 学 習 目 標 | —この科目を学習して何を身に付けてほしいのか— |
| ○ 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばしていく | |
| 1 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また伝えたい内容を整理して論理的に話す | |
| 2 主題を決め、様々な種類の文章を書く | |
| 3 聞いたことや読んだこと、学んだことや経験したことに基づいて、情報や考えなどを整理して発表する。また発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 | |
| 4 多様な考え方が出来る話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う | |
| 学 習 内 容 | —この科目で学習する大まかな内容— |
| まずトピックに関するモデル文とリスニングタスクを通して、そのレッスンで習得する内容を確認します。Study PointsやExpressionsではテーマに沿って、英語表現Ⅰで学習した縦割りの単一的な文法ではなく、複数の文法事項を使って表現する方を学びます。Quick Responseを用いての英作文や音読などを行い、文法事項の確認を行います。その後Exercisesや準拠ワークブックを用いての習得事項の確認や、GOALを用いての表現活動など行っていきます。 | |
| 学 習 方 法 | —この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか— |
| (1) 学校 | |
| 習ったことを積極的に使う | 授業内には活動の場が多く取り入れられています。今習ったことをその場で使うことで自分の身につけることができます |
| ノートの取り方に工夫をする | ノートは左が説明、右がExerciseなどの演習となります。板書だけでなく、間違ったところや重要なところは線を引いたり、メモをするなどノートを取る際にも積極的な姿勢が必要です。 |
| (2) 家庭 | |
| 予習、復習を必ず行いましょう | 予習は教科書のExerciseがそれにあたります。教科書のGrammarや参考書Vision Quest総合英語を参考に自分で解きましょう。また復習として準拠Workbookに取り組んで下さい。 |
| 教科書で扱った英文は必ず音読しましょう | 音読は英語の基本です。授業中だけでなく、家庭学習の中心に位置づけて下さい。 |

3 この科目の評価方法について

| | |
|--|----------------|
| 評 価 方 法 | —何をを使って評価するのか— |
| 定期考査70% 授業への参加状況10% 課題提出10% 小テスト(英単語など)10% | |
| 評価における定期考査の割合 | 70% |

4 この科目の評価の観点について

| | |
|-------------------------|---|
| 評 価 の 観 点 | —この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか— |
| (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | ①モデル文に関心を持ち、読もうとしている②間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている③積極的にコミュニケーションを図ろうとしている(10%) |
| (2) 表現の能力 | ライティング(10%) ①学んだ文法や表現を使って、文を書くことが出来る②自分や与えられた課題について、文章を書くことが出来る③パラグラフの構成に基づいて文章を書くことが出来る④要約を書く手順を理解し、要約文を書くことが出来る スピーキング(10%) ①与えられた状況において、適切に話し、伝えることが出来る②自らの意見を、適切な表現を用いて伝えることが出来る |
| (3) 理解の能力 | リスニング(10%) ①相手の言ったことを、正しく聞き取る②英文を聞き、正しい解答を述べる(10%) リーディング(10%) ①つなぎ言葉の使い方を理解している②パラグラフの構成を理解している③文章の要点をつかむことが出来る |
| (4) 言語や文化についての知識・理解 | ①いろんなトピックについて、内容を理解することが出来る②それぞれのページで学んだ文法や表現を理解し、知識として定着させている(→定期考査等を用いて評価) |

| 年間学習計画 | | —この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか— | | 重視する評価の観点 | | | |
|--------|---|--|---|-----------|---|---|---|
| 期 | 月 | 学習の項目 | 学習の内容 | 関 | 表 | 理 | 知 |
| 1 | 4 | «English Expression I» Lesson 8 How about going to see a musical? (5時間) | (W):Writing (S):Speaking (L):Listening (R):Reading (S) 動名詞を用いて、趣味や娯楽について簡単な会話をする。また、友人と一緒に1日を過ごす計画を立てる。 (W) 動名詞を用いて、自分や家族の特技を簡単な文章で書く。また、自分の楽しみについて平易な文章で書く。友人に対し、自分の好きな娯楽と一緒に出かけよう誘うメールを書く。 (L) 音と音が結合して別の音になることを理解し、楽しみながら相手の趣味や娯楽についての会話を聞く。 (R) ミュージカルに関する会話を読んで、その内容を理解する。 | | ● | | ● |
| | 5 | Lesson 9 I'm for school uniform. (6時間) | (S) 賛成・反対の表現を用いて、学校の制服についての賛成・反対の意見をグループ内で交換する。意見が分かれる事柄の賛否について、相手とやりとりをする。 (W) 分詞を用いて写真の内容について文章で説明する。分詞構文を用いて、日本の高校生の一般的な特徴について簡単な文章を書く。 (L) 学校の制服についての会話を聞いて理解する。それについての賛成・反対の意見を聞いて内容を理解する。 (R) 学校の制服についての会話を読んで、その内容を理解する。 | ● | ● | | |
| | 6 | Lesson 10 How do you send your Christmas? (6時間) | (S) 関係詞を用いて物事を説明する表現を使う。日本の文化的な物事について説明や回答をする。 (W) 関係詞を用いて知人や自分の必要なもの、住んでみたい国や街について簡単な文章を書く。日本の行事についての文章を書く。 (L) 文化に関する会話を聞いて、その内容を理解する。 (R) 文化に関する会話を読んで、その内容を理解する。 | | ● | | ● |
| | | Lesson 11 Did you watch the debate on TV last night? (6時間) | (S) 意見を述べたり主張したりするための表現を覚える。日本の少子化の原因や解決策について英語でやりとりをする (W) 比較の表現を用いて、夏と冬を比較したり、最も有名な日本人について簡単な文章を書く。日本の少子化についての文章を書く。日本の社会問題について話し合い、グループの意見を文章としてまとめる (L) 社会問題に関する会話を聞いて、その内容を理解する (R) 社会問題に関する会話を読んで、その内容を理解する。資料となるグラフとその説明の英文をを読んで、必要な情報を入手する | ● | ● | | |
| 2 | 7 | Lesson 12 I wish my parents were more understanding. (4時間) | (S) 助言や提案をするための表現を使って、相手の悩みについて英語でやりとりをする。架空の出来事についての対応をグループで議論し、最善と思われる策を決定する (W) 仮定法を用いて、「タイムマシンが使えたら」「自分や家族に望むこと」について簡単な文章を書く。自分の悩みについて文章を書く。相手の悩みについて助言を書く (L) 悩み事に関する会話を聞いて、その内容を理解する (R) 中身毎に関する会話を読んで、その内容を理解する | ● | ● | | |
| | 8 | «English Expression II» Part 1 Lesson 1 お花見 (3時間) | 【主語の決定/見えない主語の発見/主語のit】 (W)①日本語に惑わされることなく適切な主語で英文を書く②日本語で表記されていない主語を英語で適切に表現する③主語として使う it をきちんと運用する④日本の年中行事について、ある程度の長さの英文を書くことが出来る (S) 日本の年中行事について、英文を基に効果的に聴衆に話す (L) 日本の年中行事に関する内容の英文を聞いて理解する (R) 日本の年中行事に関する内容の英文をを読んで理解する | | ● | ● | |
| | 9 | Lesson 2 マンガの楽しみ (3時間) | 【主語になる名詞句/形式主語/無生物主語】 (W) ①前置詞句・不定詞・動名詞などを主語にして英文を書く②形式主語を用いて適切な英文を書く③無生物主語を用いて適切な英文を書く | | ● | ● | |

| | | | | | | | |
|----|---|---|---|--|--|--|-------|
| | | | (S) 日本のアニメやマンガが人気である理由について英作文を基に効果的に聴衆に話す (L) 日本のアニメやマンガが人気である理由について述べた英文を理解する (R) 日本のアニメやマンガが人気である理由について述べた英文を読んで理解する | | | | |
| | | Grammar Focus 1 名詞と冠詞 (1時間) | (W) ①数えられる名詞と数えられない名詞の違いを理解し、単数と複数を適切に表す②冠詞を適切に使用し、正しい英文を書く | | | | ● |
| | | Activity for Communication 1 Storytelling (2時間) | (W) 絵を見てその状況や出来事のある程度の長さの英文で表す (S) ①絵を見てその状況や出来事を英語で説明する②絵に描かれた状況や出来事についての質問に英語で答える | | | | ● ● |
| 10 | | Lesson 3 京都へ観光に (3時間) | 【自動詞と他動詞／群動詞】 (W) ①自動詞と他動詞を適切に選択して、正しい英文を書く②群動詞を使って適切な英文を書く③日本を観光案内する内容のメールを英語で書く (S) 日本を観光案内する内容の発表を、英作文を基に効果的に聴衆に話す (L) 日本を観光案内する内容の英文を聞いて理解する (R) 日本を観光案内する内容の英文を読んで理解する | | | | ● ● |
| | | Lesson 4 私の家族です (3時間) | 【第3・第4文型】 (W) ①第3・第4文型をとる他動詞を使って正しい英文を書く②家族や友人を紹介する内容の手紙を英語で書く (S) 家族や友人を紹介する内容の英文を、英作文を基に聴衆に話す (L) 家族や友人を紹介する内容の英文を聞いて理解する (R) 家族や友人を紹介する内容の英文を読んで理解する | | | | ● ● |
| | | Lesson 5 保育園での職業体験 道徳教育を行ないます (3時間) | 【補語を取る文型】 (W) ①第2・第5文型を用いて正しい英文を書く②課外活動について、ある程度の長さの英文を書く (R) 課外活動について述べた英文を読んで理解する | | | | ● ● |
| 11 | | Lesson 6 サプライズパーティー (3時間) | 【使役動詞／知覚動詞】 (W) ①使役動詞、知覚動詞を用いて正しい英文を書く②ある程度の長さのストーリーを書く (S) 自分で作成したストーリーを基に効果的に聴衆に話す (L) 短い英文のストーリーを聞いて理解する (R) 短い英文のストーリーを読んで理解する | | | | ● ● ● |
| | | Lesson 7 映画のお誘い (4時間) | 【直接話法と間接話法】 (W) ①話法を理解して、第三者の発言内容を英文で適切に伝達する②友人をイベントに誘うメールを英語で書く (S) 友人を自分の作成した英作文を基に実際にイベントに誘う (L) 誘われた方は実際にそのイベントについての詳細を確認する | | | | ● ● |
| 12 | | Grammar Focus 2 主語と動詞の呼応 時制の一致 (1時間) | (W) ①主語に合わせて動詞の形を適切に決め、正しい英文を作る②主節と従節の時制の一致を適切に行い、正しい英文を書く | | | | ● ● |
| | | Activity for Communication 2 Role-Playing (2時間) | (W) 電話の内容を要約し、適切なメモ書きを作成する (S) 地図を見て相手に特定の場所への行き方を説明する (L) 電話での会話を聞いて内容を理解する | | | | ● ● |
| | | Lesson 8 航空管制官になる (3時間) | 【動詞の形】 (W) ①現在や未来のことにに関して、適切な動詞の形を選択して、正しい英文を書く②自分の将来の夢について、現在努力していることやこれからするつもりである事を含めてある程度の長さの英文を書く (S) 自分の将来の夢について、現在努力していることやこれからするつもりである事を含めて英作文を基に効果的に聴衆に発表することが出来る (L) 将来の夢について聞いて、理解し質問することが出来る (R) 将来の夢について述べた英文を読んで理解する | | | | ● ● ● |
| 3 | 1 | Lesson 9 趣味はピアノ (3時間) | 【動詞の形②】 (W) ①過去や完了したことにに関して適切な動詞の形を選択して、正しい英文を書く②自分の趣味についてある程度の長さの英文を書く (S) 自分の趣味について、英作文を基にして効果的に聴衆に話す (L) 趣味について述べた英文を聞いて理解する | | | | ● ● |

| | | | | | | |
|---|---|--|---|---|---|--|
| | | (R) 趣味について述べた英文を読んで理解する | | | | |
| | Lesson 10 「タイタニック」を見て (3 時間) | 【態／日本語との違い】 (W)①受動態の英文を日本語に惑わされずに正しく書く②自分の好きな本や映画についてある程度の長さの英文を書く (S) 自分の好きな本や映画について、英作文を基に効果的に聴衆に話す (L) 好きな本や映画について述べた英文を聞いて理解する (R) 好きな本や映画について述べた英文を読んで理解する | ● | ● | | |
| | Lesson 11 世界遺産の魅力 (3 時間) | 【仮定法】 (W)①仮定法の文を正しく書く②世界遺産についてある程度の長さの英文を書く (S) 世界遺産について書いた英作文を基に、魅力的な発表をする (L) 世界遺産についての発表を聞いて理解する (R) 世界遺産について述べた内容の英文を読んで理解する | | ● | ● | |
| 2 | Lesson 12 ボランティア活動 道徳教育を行ないます (3 時間) | 【助動詞】 (W) ①助動詞を用いて、英文を正しく書く②ボランティア活動での経験のある程度の長さの英文で書く (S) ボランティア活動での経験を英作文を基にして、効果的に聴衆に話す (L) ボランティア活動についてのスピーチを聞いて、感想を述べる (R) ボランティア活動について述べた内容の英文を読んで理解する | ● | ● | | |
| | Grammar Focus 3 英語の情報構造 (1 時間) | (W) 情報の流れを意識して、自然な英文を書く | ● | | | |
| | Activity for Communication 3 Listening for Numbers (1 時間) | (L) 日付、サイズ、値段、電話番号などの数字を含む英語を聞いて理解する | | | ● | |
| | Lesson 13 制服に賛成？反対？ (3 時間) | 【数量を表す語句／前置修飾】 (W) 数量を表す語句を用いて正しい英文を書く②形容詞、分詞、名詞などを用いて名詞の前置修飾を利用した英文を書く③制服について、賛成か反対かの立場に立ってある程度の長さの英文を書く (S) 制服について、賛成か反対かの立場で英作文を基にして、効果的な発表をする (L) 制服の賛否の発表を聞いて、自分の意見を述べる (R) 制服について述べた英文を読んで理解する | ● | ● | | |
| | Lesson 14 ローマの魅力 (3 時間) | 【後置修飾】 (W) ①後置修飾を用いて、名詞を後から適切に修飾した英文を書く②行って見たい場所についてその理由を含めてある程度の長さの英文を書く (S) 自分が行ってみたい場所を英作文を基に効果的に聴衆に話す (L) 行って見たい場所について述べた話を聞く (R) 様々な観光名所についての英文を読む | ● | | ● | |
| 3 | Lesson 15 思い出の写真 (3 時間) | 【関係詞】 (W) ①関係詞を用いて名詞をてきせつに修飾し、正しい英文を書くことが出来る②写真を選び、その思い出についてある程度の長さの英文を書く (S) 自分の思い出の写真について、英作文を基に効果的に聴衆に話す (L) 写真に対する説明を聞く (R) 写真が表す思い出に関する英文を読んで、理解する | ● | | | |
| | Lesson 16 科学技術の利用 (3 時間) | 【副詞】 (W) ①副詞を用いて、語句や文全体を適切に修飾した英文を書く②不定詞や分詞構文を用いて目的・原因・理由・付帯状況などを表す英文を書く③科学技術の功罪についての自分の意見のある程度の長さの英文で書く (S) 科学技術の功罪について、自分の意見を英作文を基にわかりやすく発表する (L) 発表された科学技術の功罪について聞き、自分の意見を発表する (R) 科学技術の功罪について述べた英文を読んで理解する | ● | ● | ● | |

Lesson 17 携帯電話は便利だけど…
道徳教育を行ないます
(3時間)

【副詞節】

- (W) ①接続詞を用いて、時や理由、譲歩や条件を表す英文を書く
- ②携帯電話の長所と短所を上げながら、ある程度の長さの英文を書く
- (S) 携帯電話に対してあるべき付き合い方について英作文を基に、効果的に発表する。
- (L) 発表を聞いて、発表者の意見に感想を述べる
- (R) 携帯電話との付き合い方について述べた英文を読んで理解する

